

# 思春期の今を考える ～日常と非日常の視点から～

2022年10月16(日)  
9:30~15:30

指定討論者

乾 吉佑 先生

専修大学 名誉教授

2009年日本精神分析学会 学会賞 受賞

2010年日本心理臨床学会 学会賞 受賞

著作：『医療心理学実践の手引き』（金剛出版）

『思春期・青年期の精神分析的アプローチ』（遠見書房）

監修：『生い立ちと業績から学ぶ精神分析入門』（創元社）



広島医師会館 3階 健康教育室  
広島市西区観音本町 1-1-1

併せてZOOM(オンライン形式)でもご参加  
いただけます

## ◇ 企画趣旨 ◇

このシンポジウムは、私たちの日常の心理臨床活動を検討し討論を深めていくことで、相互に交流しながら、思春期の心理臨床にとって大切な視点を共有していきたいというものである。

子どもの成長には、家庭での生活(衣食住など)や学校での学習や同年代との関係を積み重ねていく「日常」と、放課後や休日などの友達との交遊の時間・空間、家庭の行事や地域のお祭りなどの「非日常」の体験が必要であると考えます。

現代の子ども達に目を向けると、ヴァーチャルな世界の中で万能的になる、失敗することを恐れすぎで動けなくなるなど、コミュニケーションが未熟で幼い姿が気にかかる。また、行事の中止を淡々と受け入れ、思春期的な反抗を表に出さない姿もみられる。

「日常」も「非日常」もしっかりと体験しにくい環境の中、子どもたちは「今」をどのように体験しているだろうか。また、このような環境の中で、私たちが彼らに提供できる「日常」「非日常」の体験とは、どういったものだろうか。そこで今回は、「思春期の今を考える～日常と非日常の視点から～」というテーマで子どもたちに役立つ支援とは何かを検討したい。

進め方としては、シンポジストの方々に、それぞれが日常臨床の中から、今回のテーマについて、事例を素材にしながら話題提供をして頂いて、議論していく。指定討論者には引き続き、乾 吉佑氏にお願いする。思春期心理臨床にとって大切なことがワクワクとしかも実感を持って感じられるシンポジウムにしていきたいと思う。思春期の子どもとかかわる心理臨床家のみならず、教育、医療、福祉など幅広い領域の方々のご参加を呼びかけたい。

参加対象者：臨床心理士、教員、医師、守秘義務を持つ専門家・援助者、大学院生

定員：会場50名、オンライン50名(先着順)

参加費：5,000円(シンポジウム開催運営経費として)

参加申込み：申込みフォームより必要事項を送信いただくか、またはメールで①氏名 ②ふりがな ③住所 ④電話番号 ⑤メールアドレス ⑥所属と職種(大学院生は大学名)、臨床心理士の方は登録番号 ⑦参加方法の希望 ⑧次頁の【重要】確認事項を確認し、了承したことを明記の上、事務局まで申し込みください。併せて参加費のお振込みと、守秘義務誓約書の原本のご提出(メール添付不可)で申込み完了となります。

※申込み締切 10月12日(火)

振込先口座：広島銀行 銀山町支店(店番号002)普通預金 口座番号 3086180

口座名 思春期シンポジウム実行委員会



申込みフォーム

共催：ひろしま思春期シンポジウム実行委員会 / 杉原心理相談室

後援：ひろしま災害後のこころの支援勉強会 / 広島思春期問題研究会

※臨床心理士研修ポイント申請予定

# ひろしま思春期シンポジウム「思春期の心理臨床を考える⑰」プログラム

9:00 受付 開始／オンライン接続 開始

9:30 ミニレクチャー 「思春期の今を考える ～日常と非日常の視点から～」  
岡田 幸彦（トポスの森）

10:00 シンポジストから話題提供

司 会 岡田 幸彦（トポスの森）  
井上 房美（広島県立障害者療育支援センター）  
指定討論者 乾 吉佑先生（専修大学名誉教授）

## 話題提供者

- \*学校現場の立場から 久保 康浩（広島みらい創生高等学校）
- \*小児科の立場から 湊崎 和範（広島西医療センター小児科）
- \*精神科の立場から 井上 真一（瀬野川病院精神科）
- \*心理臨床の立場から 杉原 太郎（杉原心理相談室）

12:00 休憩

13:00 討議 「思春期の今を考える ～日常と非日常の視点から～」

司 会 岡田 幸彦 井上 房美  
指定討論者：乾 吉佑先生 ・ シンポジスト ・ フロア

15:30 閉会

## 【重要】確認事項

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を万全に施し、開催いたします。当日は感染拡大防止対策（マスク着用、手洗いと手指の消毒、黙食など）にご協力をお願いいたします。感染症の感染状況、国や自治体の方針などにより、オンラインのみの開催となる場合もございます。特に状況悪化の場合には、事務局からの連絡を確認してご対応ください。ご理解ご協力の程、お願い申し上げます。

## シンポジウム開催経緯

- 2006年 9月 日本心理臨床学会にて、自主シンポジウム「思春期の心理臨床を考える①」を開催  
テーマ「不登校・発達障害児を対象とする活動集団療法から学ぶ」  
指定討論者 国際基督教大学教授 小谷 英文先生
- 2007年 10月 第2回「思春期の子の新しい対象関係の体験をどう援助するか」以下広島で開催  
指定討論者 専修大学文学部心理学科教授 乾 吉佑先生
- 2008年 10月 第3回「思春期と対象喪失」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2009年 10月 第4回「思春期と幼児化」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2010年 11月 第5回「思春期と構造化」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2011年 10月 第6回「思春期の“自分”と“自分がない”を考える」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2012年 10月 第7回「思春期とこころのスイッチング」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2013年 10月 第8回「思春期と現代の自己愛」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2014年 10月 第9回「思春期とコミュニケーションの障害」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2015年 11月 第10回「思春期における『幼児化』と『構造化』」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2016年 9月 第11回「思春期における『対象』と『かかわり』」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2016年 10月 第12回「こころのシャッターをおろす子どもたち」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2018年 11月 第13回「思春期と対象喪失」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2019年 11月 第14回「思春期における『甘えと自立』」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2021年 1月 第15回「現代の『思春期と中間領域』について考える」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2021年 10月 第16回「思春期の『心の安全基地』～アタッチメント理論から考える～」 指定討論者 乾 吉佑先生

[ひろしま思春期シンポジウム実行委員会]

実行委員長：橋本智恵美

実行委員：井上真一 井上房美 井上真実 大原一祐 岡崎彩 岡田緑 岡田幸彦 杉原太郎 湊崎和範 宮川悦子

[ひろしま思春期シンポジウム事務局]

メイプル内 広島市安佐南区緑井1丁目27-4-104 FAX (082)876-4332 E-mail shisyunkisymposium@yahoo.co.jp